

新年あけましておめでとうございます。2022年がどのような一年となるか、さまざまな期待と不安を抱えつつ、新しい年を迎えられていることと拝察いたします。新型コロナウイルス感染症も、またきたかと呆れるほどに来波を繰り返しておりますが、狡猾なウイルスはそのつど様相を変えてきているようです。長い歴史をもつ小児科学も、少子高齢化という世相の変遷があるという理由だけではなく、医療の高度化や早期診断の能力向上などを背景として、その姿を変えていかなければなりません。昨年は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための“SDGs (sustainable development goals)” という用語が世間に広まりました。多様性への寛容と敬意は、東京オリンピック・パラリンピックのテーマのひとつでもあります、わが国の代表的年末行事のひとつでもある紅白歌合戦でも司会者の衣装がカラフルになったことは記憶に新しいことでしょう。小児科学の変遷においても、こうした多様性への対応能力が試される時代に入ってきたものと感じます。

今回の「小児科」2022年1月号の特集は、子どもの性別違和とセクシュアルマイノリティです。どのような専門においても接する可能性がありながら、

実際にどのように対応したらよいのかわからないことの多い領域かと思われます。そもそもマイノリティである子ども（とくにわが国では！）のなかでもさらに小さき声の人たちを、身体面のみならず精神的さらに社会的側面から温かく見守るために小児科医として必要な内容を、多くの先生方にご執筆いただいた貴重な特集と考えております。さらに、総説・診療においては小児の頭部外傷や夜尿症の診察、食物アレルギーの予防やアレルゲン監査の検討のほか、貴重な症例報告をそれぞれご専門の先生方に執筆いただきました。小児科医が軽症頭部外傷を診ることは、海外では20年以上前から日常的な診療形態となっています。その他比較的軽症の外傷を小児科医が診る医療構造のなかで、子ども虐待への気づきの閾値も低くなっているものとも考えられます。小児外傷はどの分野でもマイノリティであり、こうした領域に小児科医が関与していく、さらに、子どもの身体的側面のみならず精神的・社会的健全性へこれまで以上に関与していくことが求められていると感じられる1月号となっているものと思います。ぜひご一読くださいますようお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(清水 直樹)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第63巻 第1号 1月号

2022年1月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。